

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	大学連携事業				事業通番	5318	
					開始年度	平成20年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	地域交流推進事業費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	福島大学と会津美里町の相互友好協力協定、会津美里町調査研究助成金交付要綱					
事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「福島大学と会津美里町の相互友好協力協定」に基づき、学官連携により町の地域課題を解決するために行う調査研究に対する助成を実施している。 平成24年度より福島大学に限定せず全国の大学を対象とする改正を行った。 					
対象（誰、何を）	①来町する教授、学生 ②本町の地域課題					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①大学の持つ知的資源や専門的能力を地域貢献に活かす。 ②学官連携により解決する。					
成果の考え方	①本町における地域課題を学官連携により解決するため、本町に訪れた教授、学生数を成果として捉え、Aの指標を設定する。 ②本町における地域課題について、学官連携により実施した調査研究結果により提言された件数を成果として捉え、Bの指標を設定する。					
【成果指標】						単位
A	本町に訪れた教員、学生の数					人
B	本町の地域課題の提言を行った件数					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	88	514	400	367	253
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	88	514	400	367	253

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	30	30	60	30
	12	110	33	40	20
B	-	1	1	2	1
	1	1	1	2	2

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 会津大学短期大学部と連携し、「町民と行政を繋ぐグラフィックツール」に関する調査研究を実施し、広報広聴に関するアンケートや、新たな情報発信手段（LINE）において町民の利用促進を図れるよう、メニューデザイン等を行った。また、今後の広報広聴業務の改革として、広報発行回数の見直しとそれに伴う広報レイアウトの提言をいただいた。 会津大学におけるプログラム「創造力実践プログラム」で、本町内をフィールドとして提供し、会津大学生が町内散策を行い、希薄化する地域活動を維持するうえで必要な取り組みを、学生ならではの柔軟なアイデアで提言をいただいた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 新たな情報発信手段である「LINE」について、町民の利用傾向に合わせたメニュー内容で導入することができた。また、いただいた提言により、広報紙発行の業務効率化に向けたエビデンスを整理することができた。 会津大学から地域活動を維持するための必要な取り組みとして提言をいただき、今後の地域活動のアイデアを得ることができた。また、次年度も引き続き本町内を活動の場として、地域課題解決のためのアプリケーション開発に着手することとなった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
地域課題の発見から集約・解析・検証を行なった上で、できるだけ具体的な取組に対する学官連携を行う。また、調査研究にあたっては、大学連携所管課が調整役になることにより、地域課題を抱える所管課の事務負担軽減を図り学官連携に取り組みやすい体制に努める。	
成果の方向性	拡充 （理由） R3年度は、未来技術ニーズ調査として、テレワークやサテライトオフィス等のニーズについての調査を行う。また、公共交通利用や歴史文化学習についてのアプリ等の開発を進め、地域課題の解決に繋げる。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	都市交流推進事業				事業通番	5321	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	商工観光係
	項	総務管理費		目	地域交流推進事業費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	-					
事務事業の概要	姉妹・友好都市である東京都台東区、福島県檜葉町、栃木県那須町及び宮城県美里町に対して、本町の魅力を発信するとともに、多様な文化・芸能などに触れる機会を創出することを目的とし、地域間相互交流の促進に取り組んでいる。					
対象（誰、何を）	①町民 ②姉妹・友好都市との交流推進					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①姉妹・友好都市との地域間交流に参加する機会を創出・促進すること。 ②本町の魅力発信及び姉妹・友好都市との多様な文化・芸能などに触れる機会を創出すること。					
成果の考え方	①姉妹・友好都市との地域間交流を通して町民が参加する機会を創出・促進するため、姉妹・友好都市交流事業に参加した町民数を成果として捉え、Aの指標を設定する。 ②姉妹・友好都市との地域間交流を通して姉妹・友好都市に本町の魅力を発信するとともに、多様な文化・芸能などに触れる機会を創出するため、姉妹・友好都市交流イベント参加件数を成果として捉え、Bの指標を設定する。					
【成果指標】						単位
A	都市交流事業への町民参加者数					人
B	都市交流イベントの件数					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,235	1,434	1,462	1,699	15
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				200	
一般財源	1,235	1,434	1,462	1,499	15

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,550	1,600	1,650	1,700
	1,577	1,890	1,063	2,849	1,013
B	-	30	31	32	33
	29	30	22	22	2

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと交流ショップ台東（台東区）へ出店した。 ・檜葉町より本町へ図書に寄贈を受けた。 ・町及び外部団体等による姉妹・友好都市との交流イベントの参加件数は2件となり、延べ参加人数は1013名であった。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても対応可能な範囲で姉妹・友好都市との地域間交流活動を継続し、参加機会を創出した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	コロナウイルス感染症の収束後は、従来型の交流事業のほか、人の行き来を伴わない新たな交流事業の手法を模索し地域間交流を促進する。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 町内の商工業及び農業の関係団体との事業連携を図り、本町の魅力を発信する。	

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	住宅用地販売管理事業費				事業通番	5815	
					開始年度	平成6年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	住宅用地造成事業特別会計	款	住宅用地販売管理事業費	担当係名	人口減少対策係	
	項	住宅用地販売管理事業費	目	住宅用地販売管理事業費	重点プロジェクト	該当	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町吹上台分譲住宅地購入補助金交付要綱	
事務事業の概要	会津美里町吹上台住宅団地土地売買契約を締結し住宅を取得した所有者に対し、吹上台分譲住宅地購入補助金を交付し、吹上台分譲住宅地未分譲地13区画の購入促進を図る。 吹上台住宅団地の早期完売に向け、新聞やチラシによる広告宣伝、不動産フェアでの分譲相談会を実施するとともに、吹上台住宅団地の魅力を維持するための環境美化、適正管理に努める。	
対象（誰、何を）	吹上台分譲住宅地未分譲地13区画	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	完売する。	
成果の考え方	他物件との差別化を図るため吹上台分譲住宅地購入補助金を交付し、吹上台分譲住宅地未分譲地を完売する。	
【成果指標】		単位
A 吹上台分譲住宅地販売数		区画
B -		-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)		994	2,860	2,634	683
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源		994	2,860	2,634	683

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1	2	2	2
	-	1	2	0	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	吹上台住宅団地除草業務委託を行い、環境美化に努めた。 若者世代を中心に、幅広い世代にPRするため、フリーペーパー（週刊誌）等に広告を掲載し販売促進に努めた。 福島県宅地建物取扱業協会主催の秋の不動産フェアへ参加し、吹上台住宅団地PRを実施した。（春は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止）
成果	吹上台住宅団地除草業務委託を行い、団地内の環境美化につなげた。 広告の掲載、不動産フェアでの子育て世帯へ向けたPR活動等による情報発信を積極的に行ったが、販売までは至らなかった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	令和元年度・2年度ともに成約件数が0件であったため、住宅取得支援制度と併せたPRを行うなど、住宅取得を希望する方の選択肢となるようPR活動を行う。	
成果の方向性	現状維持	(理由) 未分譲地の完売を目指し、販売促進を継続する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	婚活推進事業				事業通番	14413	
					開始年度	平成27年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町婚活推進事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	未婚化・晩婚化に対する取り組みのひとつとして、結婚を希望する独身者へ新たな出会いの機会を創出する。それに伴い、結婚の推進を目的とした出会いの機会等を積極的に提供する事業に対して補助金を交付する。					
対象（誰、何を）	①婚活事業実施者 ②結婚を希望する独身者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①効果的な婚活事業を企画・実施する ②（結婚のための）出会いの機会を提供する					
成果の考え方	より多くの出会いの機会を創出することを成果と考える。 平成30年度まで、成果指標B「イベント実施回数」 平成31年度より「カップル成立数」					
【成果指標】						単位
A 参加者数						人
B カップル成立数						組

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	986	7,066	1,682	2,397	1,824
国庫支出金		250	50		
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	986	6,816	1,632	2,397	1,824

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	30	40	40	40
	25	76	48	63	25
B	-	1	2	6	6
	1	3	2	11	4

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 会津美里町オリジナル婚姻届デザインコンテストを実施し、応募作品の中から町独自の新たなオリジナル婚姻届を選定した。 町主催のオンラインでの婚活イベントを2回実施、参加者合計25名、カップルが合計4組成立した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> コンテストには、町内のほか町外や県外から21点の応募があり、結婚への応援、結婚したいと思える気運醸成を促すとともに町のPRにも繋がった。 新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインを活用した新たな手法の婚活イベントを開催することで、合計25人の参加者、4組のカップルが誕生しており、コロナ禍の中独身者に対して、新たな出会いの場の提供につながった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
感染症の状況にもよるが、オンラインの他にも対面での手法を検討する必要がある。コロナ禍を踏まえつつも、出会いの機会づくりに努める。		
成果の方向性	現状維持	(理由) コロナ禍でもできることを検討し、結婚・子育てコンシェルジュやみさと縁結びサポーターの協力を得ながらカップル成立に繋がる出会いの機会を確保する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	移住促進事業				事業通番	14625		
					開始年度	平成27年度		
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--		
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課		
予算科目	会計	一般会計		款	総務費		担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費		重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	なし	
事務事業の概要	町外からの移住希望者に対して、移住定住支援コーディネーターを配置して必要とする情報の提供を行う。併せて首都圏等での移住相談会やオンラインを活用した移住相談も実施する。 また、この地域ならではの資源を活用しながら、賑わいと雇用が両立できる民間主導の仕組みづくりを支援する。	
対象（誰、何を）	移住・定住の希望者	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	移住・定住する。	
成果の考え方	一人でも多くの方が移住・定住する	
【成果指標】		
A 移住・定住者		単位 人
B -		-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	556	7,855	15,426	14,784	9,709
国庫支出金		3,917	4,521	4,349	2,607
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	556	3,938	10,905	10,435	7,102

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	25	25	25	25
	17	21	32	72	100
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 活動全般において新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年となったが、新たに移住定住支援業務を民間委託で実施し、窓口での各種相談やオンラインでの移住相談会等への参加、空き家・空き地バンク及び住宅取得支援事業のPR等を行い、県内から9世帯24人、県外から1世帯2人の方が本町へ移住した。また、空き家バンク等を活用し住宅を賃借した2世帯6人や、若者定住住宅補助制度を活用した18世帯68人の方が本町に定住する運びとなった。 現行のWEBサイトを全面リニューアルし、オンライン予約機能を有する移住定住ポータルサイトを開設した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 本町の移住相談体制が整備され、移住相談件数が高い水準を推移していることから、移住先としての本町の認知度が高まったと考えられる。（移住相談件数： H27=22件、H28=69件、H29=182件、H30=224件、H31(R1)=199件、R2=165件） 「まちやど」と「グリーンクラフトツーリズム」シンポジウムを開催し、住民と問題意識や地域資源を共有することで、次年度以降の展開につなげた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続
<input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討	<input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合
【今後の改善方針】	
本町へのUターン者増加に向け、移住相談会では全国規模のものよりも会津地方・福島県・東北地方を対象とした相談会に積極的に参加するターゲットを明確にするとともに、テレワークやサテライトオフィス環境整備に向けた調査事業に取り組み、移住者及び関係人口の増加につなげる。	
成果の方向性	拡充 (理由) テレワーク環境等の整備について調査研究を行い、転職せずとも移住できる環境等の整備につなげる。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	結婚・子育てコンシェルジュ事業				事業通番	14969	
					開始年度	平成29年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町結婚・子育てコンシェルジュ事業実施要綱					
事務事業の概要	人口減少の要因である未婚化・晩婚化対策の一つとして、結婚から妊娠・出産・子育てまでの継続的な支援を行う。					
対象（誰、何を）	①結婚を希望する独身男女 ②子育て中の方					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①結婚の希望の実現 ②妊娠期から子育てまで継続的な支援が受けられる					
成果の考え方	コンシェルジュ等のサポートにより、結婚に結びついた件数を成果とする。 平成29年度まで、成果指標A「コンシェルジュの設置数」 平成30年度より「縁結びサポーター登録者数」 平成30年度まで、成果指標B「結婚に結びついた」 平成30年度より「交際に結びついた」					
【成果指標】						単位
A	コンシェルジュの設置数					人
B	結婚・子育てコンシェルジュを通して交際に結びついた件数					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,051	6,681	6,165	5,176	4,822
国庫支出金	498	2,747	2,415		
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	553	3,934	3,750	5,176	4,822

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1	15	15	15
	0	1	12	12	12
B	-	1	1	5	5
	0	0	0	1	2

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いから結婚子育てに関する町の支援等をまとめたネウボラガイドブックを作成し、子育て世代を中心に配布した。 ・新生児へ子育て支援品（木のおもちゃ等）を支給した。 ・結婚子育てコンシェルジュと縁結びサポーターによる引き合わせを4回実施した。また情報交換会、スキルアップ研修会を開催した。 ・婚活イベント、ミニ合コン、魅力引き出しセミナーを開催した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会や研修会開催により縁結びサポーターのスキルアップの向上と引き合わせ活動に活かされた。 ・イベント等により3組のカップルが成立した。（うち2組が交際） ・縁結びサポーターの活動により1組の成婚につながった。 ・セミナーにより結婚希望者のメイク術や身だしなみなどのスキルアップにつながった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
出会いから結婚・子育てまでを切れ目なく支援するコンシェルジュは、本町の充実した子育て環境の構築に欠かせない存在となっている。コンシェルジュ及びみさと縁結びサポーターによる引き合わせやイベント開催等の結婚支援の取組も充実しつつあり、引き続き結婚を希望する方々へのサポートを行っていく。		
成果の方向性	現状維持	(理由) コロナ禍でもできる内容を検討し、結婚・子育てコンシェルジュ及びみさと縁結びサポーターの継続的なスキルアップを図りながら、結婚・子育て支援の充実を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	住宅取得支援事業				事業通番	15304	
					開始年度	平成30年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	令和4年度	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	建築基準法、住生活基本計画（全国計画）、来て ふくしま 住宅取得支援事業実施要綱、来て ふくしま 住宅取得支援事業補助金交付要綱、会津美里町住宅取得支援事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	移住・定住の促進を図るため、町外から町内の住宅（新築・中古）を取得した者に対し、その経費の一部を支援する。 ※中古住宅については、町空き家バンク台帳に登録された物件に限る。 補助額：補助対象経費の2分の1以内で、最大100万円 なお、福島県外からの移住者で、福島県の住宅取得支援事業の要綱に定める要件に該当する場合は、最大100万円加算する。					
対象（誰、何を）	①移住者 ②住宅					
意図 （対象がどのような状態になることを目指すか）	①町内へ転入し、定住する。 ②住宅を取得し安定した生活基盤を築く。					
成果の考え方	①移住者数 ②住宅戸数					
【成果指標】						単位
A 移住者数						人
B 住宅戸数						戸

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)			6,050	9,550	8,050
国庫支出金					
県支出金			1,650		700
地方債					
その他					
一般財源			4,400	9,550	7,350

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	10	14	17
	-	-	21	28	26
B	-	-	5	7	7
	-	-	6	12	10

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成、HPへの掲載など移住希望者に対し制度周知を図った。 ・移住定住支援業務受託者と連携を図り、移住相談時に制度周知を図った。 ・補助実績10件（新築7件、中古3件）、移住者26名
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回る事業実績となり、本事業によって移住促進が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
空き家バンクと合わせた周知や相談者への丁寧な対応等を通じ、移住者及び住宅戸数の双方で目標を上回る事業成果をあげた。本町への移住希望者が本事業内容を理解し、有効に活用いただけるよう、引き続き丁寧な情報提供を行う。	
成果の方向性	現状維持 （理由） 移住希望者の懸案事項の一つである住宅取得を支援する制度として効果的であるため、引き続き移住希望者の住宅取得ニーズに応える。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	若者定住促進事業				事業通番	15570		
					開始年度	平成31年度		
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	令和3年度		
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課		
予算科目	会計	一般会計		款	総務費		担当係名	人口減少対策係
	項	総務管理費		目	企画費		重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町若者定住住宅取得支援事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	本町に居住している若者の定住を促進し、地域活性化を図ることを目的として、本町に現在住所を有し、本町に定住するため自らが居住する住宅（新築・中古）を取得する若者に対して、その費用の一部を補助する。 ※中古住宅は空き家・空き地バンク登録物件に限る。						
対象（誰、何を）	本町住民で満40歳未満の者（夫婦の場合はいずれかが満40歳未満）						
意図 （対象がどのような状態になることを目指すか）	住宅を取得することで本町に定住する。						
成果の考え方	住居取得者件数						
【成果指標】							単位
A	住居取得件数						件
B							

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				4,900	12,800
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源				4,900	12,800

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	5	11
	-	-	-	7	18
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成、HPへの記事掲載により制度周知を図った。 ・補助実績18件（新築17件、中古1件）、定住者68名
成果	本事業により若者世帯の定住が図られ、人口流出の抑制につながった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
町内の若者の定住促進として新築住宅のみを対象としていたが、中古住宅（空き家バンク登録物件）も補助対象として要件を拡充し、若者の定住を図る。		
成果の方向性	現状維持	（理由） 若者の転出抑制のため、懸案事項の一つである住宅取得を支援する制度として効果的であるため、引き続き住宅取得支援により若者の定住を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	あいづみさとデザイン創出研究事業				事業通番	16082	
					開始年度	令和2年度	
総合計画体系	政策	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	終了年度	--	
	施策	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	なし
事務事業の概要	高校生の柔軟なアイデアを行政活動に盛り込むため、行政が創意工夫でカスタマイズし、事業化（政策間連携、協働、官民連携）するための仕組みづくりを研究・構築する。
対象（誰、何を）	高校生
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	高校生自らが地域課題の解決を考え、地域に貢献できる人材になるという目標を踏まえ、探求の時間で考察した地域課題解決のアイデアを、実際に活動に移す。
成果の考え方	目標値は、高校生が考察したアイデアを活かし、高校生による地域課題解決に取り組んでいる件数とし、取り組みから3年目のR3に1件の成果を目指し、その後もその取り組みを維持する。 R1は地域課題の把握、R2は解決手段の考案、R3は考案の実行、R4以降は、その取り組みを維持・強化。
【成果指標】	
A 高校生による地域課題解決の取り組み件数	単位 件
B -	-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)					0
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源					0

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	0
B	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	大沼高校1学年、2学年で行っている総合的な探究学習において、職員による町の概要と重点的な取り組み事項を説明し、高校生自らが町の課題認識をできるよう支援した。
成果	高校生が自ら町の課題を掘り出し、それに対する課題解決のアイデアを考案した。しかし、実際の取り組みには至っていない。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
高校生自ら町の課題を掘り出し、その解決策を考案する取り組みをサポートする。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 地域での活動は、高校生にも地域にも伝統文化や地域課題に触れ、解決していくことで、個々の郷土意識や将来における地域の関わりとしても有効な事業と考えるので、今後とも積極的なサポートを行う。